



6 月上旬までの降水量は、平年より大幅に少ない状況でしたが、中旬にまとまった降雨量を観測し、極端な土壌干ばつは回避されました。気温が高く推移しているので、現状は病害の感染拡大に好適な高温・多湿状態となっています。この期間に散布間隔が空いてしまうと、病気の感染拡大が進み、成熟期の果実被害（腐敗）の要因となります。よって、梅雨明けまでは散布間隔を空け過ぎないように前倒し散布をこころがけましょう！また、ハダニ類の発生が一部地帯で確認されています。梅雨明け後はハダニ類の密度が一気に高まりますので、密度が低いうちに防除を徹底しましょう！7 月上旬の薬剤散布の詳細は下記の内容によりますが、不明な点は営農センター担当までお問い合わせください。

りんご

7 月上旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

◆ 散布日	月	日
◆ 散布量	リットル	

◆ 散布時期：7 月 5 日～10 日 *注意事項①、②参照

◆ 散布薬剤：水 1 0 0 リットル

展着剤 1 0 ml *注意事項③参照

コロマイト乳剤 1 0 0 ml （前日、1 回） *注意事項④参照

バイスロイド E W 5 0 ml （7 日前、4 回） *注意事項⑤参照（劇物）

オキシラン水和剤 2 0 0 g （14 日前、4 回） *注意事項⑥参照

スイカル 1 0 0 g *注意事項⑦参照

◆ 散布量：10a 当り 600 リットル *注意事項⑧参照

◆ 対象病虫害：輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、褐斑病（要注意）

りんごハダニ、ナミハダニ（要注意） *注意事項④参照

シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ

～ 注意事項及び果実腐敗病対策 ～ *必ずお読みください。

- ① 輪紋病・炭疽病・褐斑病の重要防除となります。今回の散布は遅れないように進める。尚、予防散布を前提としているので、前回散布後に雨が続く場合は、上記の散布目安日より前倒しで行うこと。（詳しくは担当技術員までお問い合わせください。）
- ② 輪紋病・炭疽病の発生が心配される場合は、ic ボルドー412 の 33 倍を7 月初旬に特別散布する。ただし、つがる等の早生種にはボルドー液は散布しない。（詳しくは担当技術員までお問い合わせください。）
- ③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、機能性展着剤のササラの 2000 倍（100 リットルに 50ml）を使用すると薬液が葉裏等によく浸み込む効果がある。
- ④ 殺ダニ剤の効果を高めるために、徒長枝切りや下草除草を薬剤散布予定の 3～4 日前に実施する。また、この薬剤は、ハダニ類の密度の低いうちに散布すると効果がある。
- ⑤ バイスロイド E W は、劇物登録薬剤であるので、購入の際は印鑑を持参してください。
- ⑥ 毎年、褐斑病の発生が多い園地は、トップジン M 水和剤 1500 倍（前日、6 回）を加用散布する。
- ⑦ カルシウム剤「スイカル」の 1000 倍は、ビターピット・果実軟化防止や果実からの油上がり予防、果実の日持ち性向上、新梢の徒長抑制などに効果があるので、必要により加用する。
- ⑧ 園全体によく飛散するように、散布量は多めに設定する。特に園が込み合っている場合は、外周等に死角がでないように注意する。

注：裏面に「もも」と「ネクタリン」の防除が載っています。

【注意】平均気温が高く経過しており、害虫の発生が早い傾向です。園地の状況をよく確認し、適切な防除に努めましょう。

せん孔細菌病の春型枝病斑が散見されています。枝病斑の切除を徹底してください！！

また、収穫前や収穫中の作物への飛散に充分注意してください。

もも

第8回 定期防除

7月上旬の散布（前回より14日後）

散布時期： 7月4日～9日 *散布時期は目安です

*降雨が連続する場合は、予定より散布時期を早めましょう。

散布薬剤：（混用順）

水	100 ^{リットル}
展着剤	20ml
⑧デランフロアブル	166ml（7日前、4回）
ナリアWDG	50g（前日、2回）
⑧ダイアジノン水和剤34	100g（前日、4回）

散布量：10a当たり 600リットル

対象病害虫：せん孔細菌病、灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病
シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ幼虫

【注意事項】

- ① ナリアWDGはぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ルクチェに薬害を生じる恐れがあるので注意する。）
- ② ナリアWDGに代えて、ダコニール1000の1,000倍（前日、6回）を散布してもよい。*ただし、除袋後に使用すると果実に日焼け状の薬害を生じる恐れがあるので注意する。
- ③ モモハモグリガ、カメムシ類（コガネムシ類）の発生園はダントツ水溶剤4,000倍（7日前、3回）を散布する。

次回散布予定：7/18～

散布日 月 日

散布量 リットル

ネクタリン

第8回 定期防除

7月上旬の散布（前回より14日後）

散布時期： 7月3日～8日 *散布時期は目安です

*降雨が連続する場合は、予定より散布時期を早めましょう。

散布薬剤：（混用順）

水	100 ^{リットル}
展着剤	20ml
ナリアWDG	50g（前日、2回）
ダントツ水溶剤	25g（3日前、3回）

散布量：10a当たり 600リットル

対象病害虫：灰星病、黒星病
シンクイムシ類、モモハモグリガ、カメムシ類、（コガネムシ類）

【注意事項】

- ①ナリアWDGはぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ルクチェに薬害を生じる恐れがあるので注意する。）
- ②ナリアWDGに代えて、ダコニール1000の1,000倍（前日、6回）を散布してもよい。*ただし、除袋後に使用すると果実に日焼け状の薬害を生じる恐れがあるので注意する。

次回散布予定：7/17～

散布日 月 日

散布量 リットル

【当面の管理】

- ◆ 仕上げ摘果、袋掛けを進めましょう。
- ◆ 薬剤散布は、間隔を空けすぎないように注意しましょう。
⇒今後は、病害虫の多発が予想されます。予防散布に努めましょう。
- ◆ 下草管理 園内除草を徹底しましょう。

除草剤使用基準・・・10a当たり バスタ液剤 500ml 水量 100～150^{リットル}

農薬（毒物・劇物）をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。